

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016/06/24

| | |
|----------------------------------|------------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | 日本語・日本文化専攻 教授 |
| 氏名 Name | 中田一志 |
| 専門分野 Academic Field | 現代日本語文法 |

平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

| | | | | | |
|---|-----------------|-------|-------|---------|--|
| 主たる研究テーマ Principal Research Subject | 現代日本語文法と日本語文法教育 | | | | |
| 研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words) | | | | | |
| <p>大阪大学の日研究生の修了論文を計量テキスト分析すると、日本語を専攻している海外の大学生は「使用」「意味」「用法」や「機能」に強い関心があることが分かる。これらは古くから日本語研究で取り上げられてきた観点であるが、未だに海外の日本語研究者にとっては十分に「意味」「用法」「機能」が消化されるものとなっているわけではない。</p> <p>本研究では、現代日本語文法研究は日本語教育に資するためのものであるという考えのもと、日本語とは異なる言語体系を持つ、外国人研究者および外国人教育者が活用できるような文法記述を、彼らとの議論を通して、推し進めていく。扱う現象は、終助詞研究を中心にした文末あるいは文末相当の形式で、語用論的あるいは認知言語学的なアプローチで記述できる現象を扱う。</p> <p>また、日本語文法研究の分野において、この分野がさらに活性化するように積極的に研究会等の運営に携わる。さらに世界の各地での日本語教育および日本語研究の充実を図るために、日本語教育政策に資するための研究分野でも貢献していく。</p> | | | | | |
| 共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1 | 日本語学 | 日本語教育 | | | |
| キーワード Keywords*2 | 日本語専攻 | 日本語学 | 日本語教育 | 日本語教育政策 | |